

奈良県道路整備基本計画（原案）に対する意見について

【建設委員会の委員による発言】

開催日：平成26年4月25日（金）

意見数：6件

意見の概要	意見に対する県の考え方
<p>・骨格幹線道路以外の道路整備はどう考えているのか。</p>	<p>骨格幹線道路ネットワーク以外の路線についても、道路整備の目的を明確にした上で、市町村のまちづくりと連携を図りつつ、整備を推進すべきだと考えています。</p> <p>この考え方については、「2. 目的志向の道路整備の推進」でお示ししていますが、骨格幹線道路ネットワーク以外の路線に対する考え方を示しているとはわかりづらい案となっていますので、その考え方を記載している旨を追記することとします。</p> <p>→追記（P.9） 2. 目的志向の道路整備の推進 経済の活性化、県民の暮らしの向上や安全・安心の確保を図るため、骨格幹線道路ネットワークの形成と併せて、ネットワークからのアクセス向上、身近な生活道路の課題解決、道路防災・老朽化対策等に取り組む。これらの取組を推進する上では、市町村等の関係機関との連携のもと、地域のまちづくりや多様なニーズをはじめとする道路を取り巻く環境の変化に、きめ細かく機動的に対応することが重要である。</p> <p>このため、「企業立地の支援」、「観光の振興」、「生活利便の向上」、「安全・安心の確保」の4つの明確な目的を定め、早期に効果が得られるよう、ハード・ソフト施策を効率的かつ効果的に実施する。</p>
<p>・重点戦略や半日圏道路網構想など今まで取り組んできた計画の継続・継承についてどう考えているか。</p>	<p>本計画（案）は、重点戦略をはじめとするこれまでの取組を受け継ぎつつ、これを一層発展させるとともに、ますます多様化、複雑化する道路整備の取組を、目的志向を明確にしながら、体系的、総合的、計画的に進めていくための礎となることを狙いとしています。（P.2参照）</p> <p>しかし、骨格幹線道路ネットワークの対象路線の考え方には、これまでの取組を受け継ぐ旨が表現されていないため、その旨を追記することとします。</p> <p>→追記（P.7） ①対象路線の考え方 骨格幹線道路ネットワークを構成する路線の設定においては、重点戦略をはじめとするこれまでの取組を受け継ぎつつ、都市計画や交通実態を踏まえ、以下の観点を重視する。</p>

意見の概要	意見に対する県の考え方
<p>・50年後を見据えたインフラ整備や老朽化に対応した維持管理についてどう考えているか。</p>	<p>橋梁をはじめとして、トンネル、舗装、法面、盛土、擁壁等や道路付属物などの道路ストックは、<u>効率的かつ効果的な維持管理を推進することが重要である</u>と考えています。(P.16参照)</p> <p>膨大な道路ストックの維持管理を効率的かつ効果的に実施するため、<u>戦略的なストックマネジメントを展開し、予防保全型維持管理を推進します</u>。(P.16参照)</p>
<p>・道路整備基本計画に対する事業費はどう考えているか。</p>	<p>本計画(案)は、「奈良県道路の整備に関する条例」により、整備を図るための施策についての基本的な計画と位置づけられており、あくまで施策の方向性を示すものです。</p> <p>事業の実施については、本計画(案)に基づき、各分野の事業計画を策定することにより、事業推進のための予算を確保していくものと考え、目標に向けて道路予算が着実に確保できるよう努力して参ります。</p>
<p>・計画をしっかりと立てて、それに必要な予算を確保する覚悟が必要。</p>	<p>事業の実施については、本計画(案)に基づき、各分野の事業計画を策定することにより、事業推進のための予算を確保していくものと考え、目標に向けて道路予算が着実に確保できるよう努力して参ります。</p>
<p>・現在、行政に求められているのはスピード感。概ね10年後に骨格幹線道路ネットワークが形成できるよう願います。</p>	<p>当面重点的に整備を推進する幹線道路として、<u>県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけ</u>(P.7参照)、<u>概ね10年後の目指すべき骨格幹線道路ネットワークをお示しした上で、今後5年間の事業展開をお示ししています</u>(巻末資料参照)。</p> <p>しかし、本計画(案)の本文中には、概ね10年後の骨格幹線道路ネットワークの形成を目標とする旨の記述がないため、その旨を追記することとします。</p> <p>→追記(P.8)</p> <p>(3) <u>骨格幹線道路ネットワーク実現のための事業展開重点戦略等のこれまでの取組を踏まえ、現在事業中箇所</u>の整備進捗を見込んだ<u>概ね10年後の骨格幹線道路ネットワークの姿を形成する</u>ために以下のような事業展開を図る。</p>